

保護者の皆様からのアンケートへの回答ありがとうございました。今後とも家庭・地域とともに、よりよい学校づくりに取り組んでまいります。

① お子さんは、「自分事」として学習課題に取り組み「自分から」学習を進めている。



② お子さんは、ICT（タブレット端末）を活用して、学習している。



③ お子さんは、家庭で、宿題や自主勉強、読書の習慣が身についている。



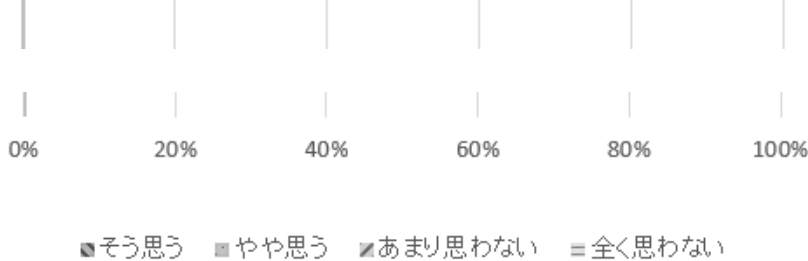
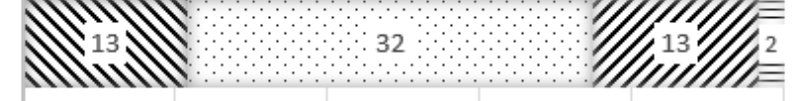
④ お子さんは、進んで運動したり、体を動かして遊んだりしている。



⑤ お子さんは、望ましい生活リズムやメディアコントロールの力が身についている。



⑥ お子さんは、安全や防災についての意識や行動が身についている。



「学力の育成」①、②、③について

「自らまなびをつくる子供の育成」とし、子供たちが主体的に学ぶ授業づくりを目指してきました。今後とも、基礎的・基本的な学習の定着と、課題設定・課題解決学習のバランスを大切に、子供が課題を自分事としてとらえ友だちと関わりながら解決し、学ぶ楽しさを味わえるような授業改善に努めていきます。

また、やらされる家庭学習ではなく、自分からやる家庭学習の習慣化に角ご家庭と連携を図りながら取り組んでいかなくてはならないと考えております。

「身体の育成」④、⑤、⑥について

進んで運動したり体を動かして遊んだりする子が増えています。運動能力調査の結果を見ると、瞬発力、持久力に課題があります。教科体育で課題を意識した運動を継続的に取り入れ、基礎的な体力を高めていきます。

生活リズムやメディアコントロールに課題があります。学校でも健康に関する意識を高めようと、様々な取り組みをしています。

メディアはとても楽しく、魅力的だからこそ、意識しないと依存的になりやすいものです。上手に付き合えるように家庭と共に子育てをしていきましょう。

⑦ お子さんは、家の人や近所の人に進んであいさつしている。



⑧ 進んでお手伝いしたり、よい行いをしようとしている。



⑨ お子さんは、「自分には良いところがある」「何かをやり遂げて満足した」と感じている。



⑩ 学校は、いじめを許さない学校づくりを行い、いじめ防止に努めている。



⑪ 学校は、子供たちの学校での姿を、保護者や地域に伝えようとしている。



⑫ 学校は、保護者や子供が相談しやすい雰囲気があり、相談に親身になって対応している。



⑬ 学校と地域は互いに連携・協力を行い、地域の自然・産業・文化伝統行事についての学習を進めている。



「心の育成」⑦、⑧、⑨について

あいさつは、「している」「ややしている」と答えた子の割合が高いですがいつでもどこでも元気なあいさつができるような意識付けを継続して取り組んでいきます。

進んでお手伝いやよい行いをすることは昨年の課題であったが「そう思う」「やや思う」と答えた子の割合が、62%から73%に増えている。「自分ごととして子どもたちがつくる学校生活の創造」が根づいてきていると思える。

「できた」という達成感は自己肯定感を育て、「やる気」の源となります。⑨について84%がよいと評価しています。すべての子が「自分が好き」と思えるような教育を目指してまいります。

その他経営 ⑩～⑬について

「いじめ」はあってはならないことです。子供達の生活の中でおきる様々な感情の行き違いやトラブルへの向き合い方やその解決方法を考える望ましい行動や心の在り様を身につけさせたいと考えております。学校の教育活動は、保護者の皆様と教職員が連携を図ることが何より重要な事と考えております。お子さんの様子で気になる点がございましたら、いつでもお気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

学校と地域の連携については、様々な社会情勢の変化に応じて、価値ある実体験ができるような工夫をして、これからも教育活動を行ってまいります。